

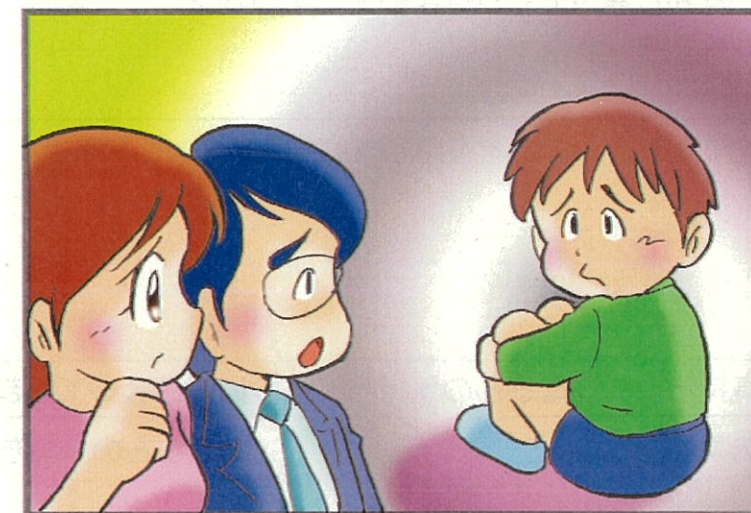


寄って話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

どうする？ どういう？

～子供の人間関係へのかかわり～



イラスト：うじな かずひこ

小学校も高学年になると、友だちとの行動範囲も広がり、だんだん親と話してくれなくなってきます。また、二次性徴に向かって体と心も大きく変化していきます。

子供が何を考えているのかわからない、と悩んだことはありませんか。子供を取り巻く様々な問題や、親子のコミュニケーションについて、一緒に考えてみましょう。

広島県教育委員会

参考資料2 いじめ発見のポイント

友だちとのつきあいなど様々な人間関係の中で、些細なことからも深刻ないじめに発展することがあります。

いじめの問題を解決するためには、いじめの兆候にいち早く気づき、早期に対応することが必要です。家庭で注意しておきたい「いじめのサイン」としては、次のようなものが挙げられます。きめ細かな注意を払って、実態の把握に努めるようにしてください。

いじめの兆候が見られる場合は、学校の先生やスクールカウンセラー、県立教育センターの相談員等に相談してください。

態度やしぐさ	<input type="checkbox"/> 家族との対話を避けるようになる。 <input type="checkbox"/> 受信した電子メールをこそこそ見たり、電話が鳴るとおびえたりする様子が見られる。 <input type="checkbox"/> 部屋に閉じこもったり、考え事をしたり、家族とも食事をしなかつたりする。 <input type="checkbox"/> 感情の起伏が激しくなり、動物や物等に八つ当たりする。 <input type="checkbox"/> 帰りが遅くなったり、理由を言わず外出をししたりする。 <input type="checkbox"/> 用事もないのに、朝早く家を出る。
服装 身体・体調	<input type="checkbox"/> 衣服に汚れや破れが見られたり、手足や顔等にすり傷や打撲のあとがあったりする。 <input type="checkbox"/> 自分のものではない衣服（制服）を着ている。 <input type="checkbox"/> 学校に行きたくないと言い出したり、通学時間になると腹痛等身体の具合が悪くなったりする。 <input type="checkbox"/> 食欲不振、不眠を訴える。
学習	<input type="checkbox"/> 学習時間が減ったり、宿題や課題をしなくなったりする。 <input type="checkbox"/> 成績が低下する。
持ち物 金品	<input type="checkbox"/> 家庭から、品物、お金がなくなる。あるいは、用途のはっきりしないお金を欲しがらる。 <input type="checkbox"/> 持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きがある。
交友関係	<input type="checkbox"/> 口数が少なくなり、学校や友達のことを話さなくなる。 <input type="checkbox"/> 無言等の不審な電話、発信者の特定できない電子メールがあったりする。 <input type="checkbox"/> 急に友だちが変わる。

（広島県教育委員会「いじめ問題のホームページ」より）

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声（広島県教育モニターアンケートより）

◆ 子供が学校に行きたがらなかつたり、けんかをしたりした時、すぐに先生に相談して、早めに問題を解決することが、うまくいく“こつ”のように思います。

◆ 子供が小学生のとき、友達の間でいじめがあったようです。子供と向き合って話すのが行き詰ったとき、手紙を書いて子供に渡しました。親が心配していること、味方であることを伝えました。



お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

「エピソード」を読みましょう

息子のハルト（小学校4年生）は、親から見るととても優しい子ですが、気が小さくて、自分の気持ちをはっきり言いにくいところが少し気になります。でも、毎日元気に学校へ通い、放課後も友だちと仲良く遊んでいる様子だったので、彼なりに楽しくやっているのだろうと安心していました。



ところが、先日、ハルトが、「お母さん、僕、もう学校へ行きたくない…」と泣いて帰ってきました。どうしたのか理由をいくら尋ねても話したがりがりません。

ようやく聞き出したところ、昨日一緒に家で遊んでいたクラスメイトのカズヤさんとカードゲームのやり取りでけんかになり、今日、「次の土曜日までにスペシャルカードを持ってこなければ、もう遊んでやらない」と言われたとのことなのです。以前から、友だちとのトラブル防止のためにカードをあげたり、もらったりしてはいけないと約束していたはずなのに…。

もうカズヤくんとは遊ばないように注意し、学校には気にしないで行くように話しましたが、「カズヤくんに嫌われちゃう。どうしよう…」と、ハルトは沈みこんだまま…。

親として、こんな時、なんと言ったらよいか？

「考えましょう、出し合いましょう」

① このエピソードを読んでどんなことを感じましたか。

② 「ハルトくんの気持ち」、「お母さんの気持ち」について想像してみましょう。

ハルトくんの気持ち

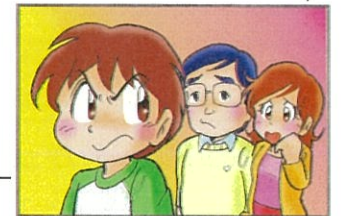
お母さんの気持ち

③ ハルトくんの問題を解決するために、この後どう対応していけばよいでしょうか。

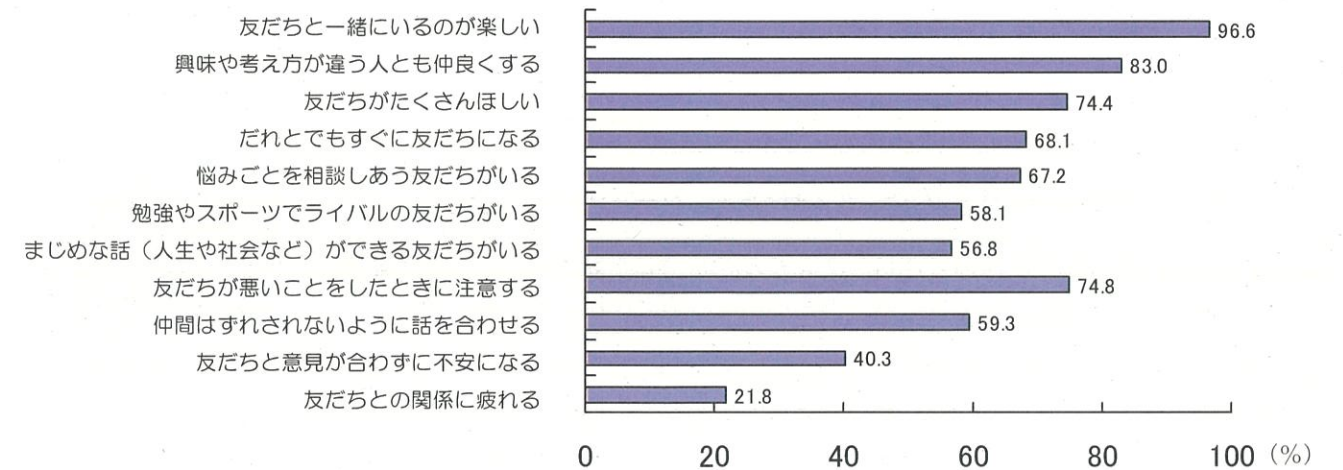
「さらに考えましょう」

① あなたは、今、子供の交友関係などで心配なことや、気になることがありますか。

② 心配なことや気になることを解決するために、親はどのように関わればよいでしょう。思いつくままに書いてみましょう。



参考資料1 友だちとの関係（小学4～6年生）



東京大学社会科学研究所 ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査 2015-2017年」より